

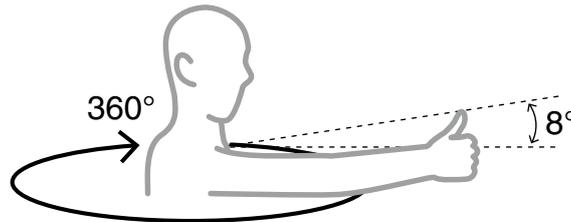
本書では、IC-SAT100をご使用になる環境や運用時の注意について説明しています。

1. 運用場所の確認

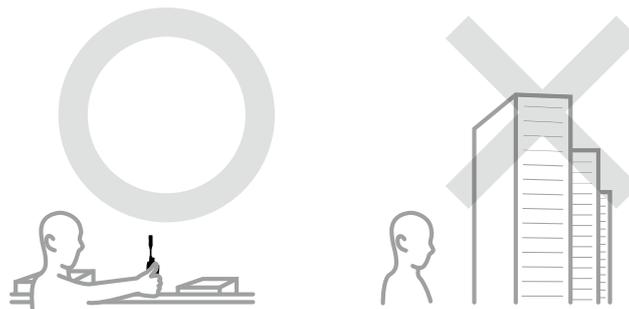
腕を水平方向に伸ばし、親指を上向きに立てます。

腕を伸ばしたまま360度回転して、仰角約8度を超える範囲に建物や木々など、受信の障害になる物がないことを確認してください。

※障害物がない広い空間でのご使用をおすすめします。



※周辺の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。
その場合は、場所を移動してください。



2. 衛星からの信号確認

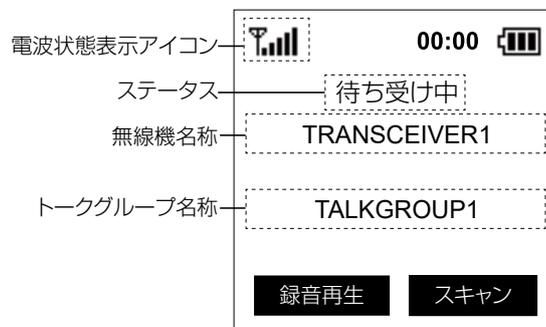
無線機の電源を入れ、アンテナをまっすぐ上空に向けた状態で衛星への接続(登録)が完了するまで待機します。

※接続(登録)には約30秒かかります。

電波状態表示アイコンで衛星からの信号強度が十分であるか確認してください。

◎衛星への接続(登録)が完了すると、衛星からの信号強度とあわせて、自局の端末名とトークグループの名称が下図のように表示されます。

◎無線機が使用できる状態になると、ステータスに「待ち受け中」を表示します。



登録商標/著作権

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

3. アンテナ位置の確認

無線機を手にとって運用するときは、顔の正面で、アンテナをまっすぐ上空に向けるようにしてください。
通話するときは、無線機を横にしないでください。



ご注意

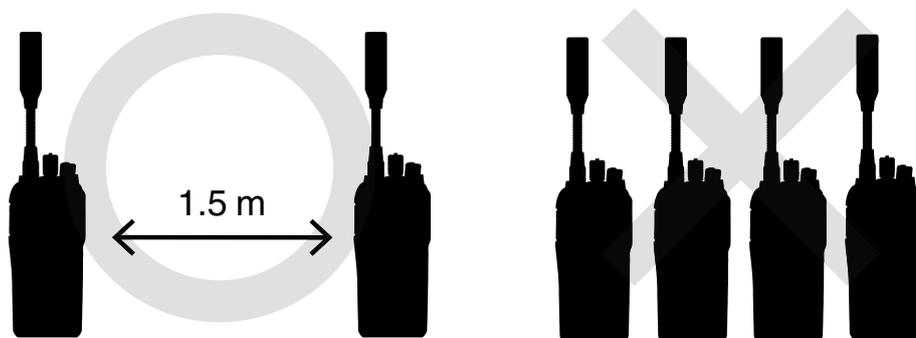
横向きにしたり、肩よりも低い位置で持ったりすると電波状態が悪くなり接続が不安定になります。
この場合、衛星からの信号強度が低下し、正しく通信ができないことがあります。



※チェストハーネスを使用して身体に固定するときは、別売品のスピーカーマイクロホンと併せてご使用ください
衛星からの信号を受信するときは、アンテナをまっすぐ上空に向けるようにしてください。

4. 無線機同士の位置関係

複数台を近距離でご使用の場合は、無線機同士を1.5m以上はなしてください。
無線機同士を近づけすぎると、電波障害を受ける原因になります。



5. 受信について

衛星からの信号を受信するときは、アンテナをまっすぐ上空に向けてるようにしてください。

※ほかの人が同じトークグループで通話中は送信できません。

ご注意

横向きにしたり、肩よりも低い位置で持ったりすると電波状態が悪くなり接続が不安定になります。

この場合、衛星からの信号強度が低下し、正しく通信ができないことがあります。

6. 送信について

選択したトークグループ内で通話が終了するまで待機します。

ほかの人が通話を終了したことを確認し、[PTT]を押しながらマイクに向かって呼びかけます。

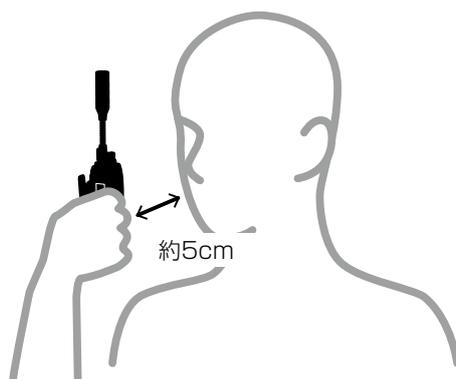
「音声送信中」が表示されるまで、[PTT]を押します。

「音声送信中」が表示されたら、[PTT]を押したまま、マイクに向かって呼びかけます。

マイクと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。

通話が終わったら[PTT]をはなします。

※手に持って通話するときは、マイクの開口部を指でふさがないようにご注意ください。



※用件は20秒以内で簡潔に話し、長い通話は避けてください。

[PTT]を押したままになる場合など、不用意な送信を防止するために、タイマーが設定されています。

連続送信が40秒を超えると、自動的に送信を停止します。通話を再開するときは、再度[PTT]を押します。

※通話中、衛星との通信状態が悪くなると、約1.5秒ごとに「ブブ」と鳴ります。

アンテナをまっすぐ上空に向けてるようにしてください。それでも通信状態が改善されない場合は、場所を移動してください。

ご注意

※最初の通話では、[PTT]を押して約2秒後に送信を開始します。

通話内容の頭切れを防止するため、[PTT]を押して約2秒待ってから、通話を開始してください。

※ほかの人が同じトークグループで通話中は送信できません。

[PTT]を押すと「ビビビビ」と鳴り、「通話中」を表示します。

通話が終了するとピープ音(ピッ)が鳴り、「オープン」を表示します。

「オープン」表示を確認してから、送信してください。

7. 持ち運ぶときのご注意

送信、受信、待ち受けの状態に関わらず、無線機を手で持ちながら移動するときは、アンテナはまっすぐ上空に向けるようにしてください。

※チェストハーネスなどに収納する場合、無線機のアンテナは肩の位置から上に、常に上空に向けるようにしてください。

